



相愛大学 人間発達学部 同窓会報

発行所
相愛大学人間発達学部同窓会
〒541-0053
大阪市中央区本町4丁目1-23(本町学舎内)
同窓会室直通TEL&FAX (06) 6261-2040
学園代表 TEL (06) 6262-0621
E-mail: doso@soai.ac.jp

2025年度より相愛大学学長に就任いたしました前田昌宏です。長い歴史と伝統を誇る相愛大学の一員として重責を担うこととなり、身の引き締まる思いです。



相愛大学 学長
前田 昌宏

私はこれまで音楽学部で専門のサクソフォーンをはじめ、オーケストラやウィンドオーケストラに携わってきましたが、演奏会終了後に世代を超え多くの卒業生の方々が集まり笑顔をお交わ

【プロフィール】

1977年、大阪音楽大学音楽学部卒業。
1979年、フランス国立リヨン音楽院卒業。フリー演奏家として大阪フィルハーモニー交響楽団や京都市交響楽団ほか在阪のオーケストラ客演奏者を務めてきた。
2010年、相愛大学音楽学部音楽学科特任教授。
2014年、相愛大学音楽学部音楽学科教授(現在に至る)。

最近頻繁に見聞きするワードを引き合いに出すまでもなく、大学にも新たな変化と役割が求められていることを実感しています。伝統を継承しつつも、未来を描く場とすべく、現在創立140周年記念事業を計画中です。
同窓会を通じた交流は、

同窓会会報送付停止について

次号より全会員様への同窓会会報の紙面の送付を終了することとなりました。経緯につきましてはホームページに記載していますので、そちらをご確認ください。

友だち登録を よろしくお願ひ致します！

人間発達学部同窓会の公式LINEを開設致しました。総会・懇親会の案内や商品開発、イベント情報などお知らせできればと思っております。



住所・氏名等の変更について

住所・氏名等変更された場合は、相愛学園同窓会室までがきまたはFAXでお知らせ下さい。下記の日程で短大・人間発達学部同窓会の担当者が在室しています。

毎週火・木・金曜日 10:00~15:00

連絡先：相愛学園同窓会室
〒541-0053 大阪市中央区本町4-1-23
TEL/FAX：06-6261-2040 (FAXは24時間受付)

※学年幹事や京都・東海・関東各支部長にもご連絡下さい。
個人情報保護の点からお問い合わせの際は会員特定をするために、会員番号または学籍番号、卒業年、学科名等詳しくお尋ねしますのでご了解下さい。

この会報19号の発行を縁として、今回も人間発達学部同窓会の皆さまにご挨拶させていただきます。平素より本学への教育・研究・社会活動へのご理解と協力を賜り、あらためまして厚く御礼申し上げます。

長任を辞し、大学を退職させていただきます(令和7年度からは学園長をつとめさせていただきます)です。専任教員としてながらくお世話になりました。ありがとうございました。この場をお借りして、皆さまに感謝申し上げます。

私事でございますが、令和6年度末をもちまして、学



相愛学園 学園長
積 徹宗

りますれば、地震や豪雨など日本各地の自然災害が繰り返し起きているにも関わらず、復旧・復興が遅々として進まない状況が続いております。この状況には政治の失策や悪い経済状況の影響も多分に見られます。また世界では戦争や紛争が収束しない事態となっております。

敬意を表する次第です。これからは相愛大学は、大規模大学とは異なる、目の行き届いた丁寧な教育・育成を実践してまいります。どうぞよろしくお願ひ致します。(追記)この原稿を書いている時点では、まだ正式決定となっておりますが、会報がお手元に届く頃には子ども教育学科の募集停止についてお聞き及びかた存じます。大学執行部としまして、規模を縮小してでもなんとか存続させていきたい思いを強く持っております。

敬意を表する次第です。これからは相愛大学は、大規模大学とは異なる、目の行き届いた丁寧な教育・育成を実践してまいります。どうぞよろしくお願ひ致します。(追記)この原稿を書いている時点では、まだ正式決定となっておりますが、会報がお手元に届く頃には子ども教育学科の募集停止についてお聞き及びかた存じます。大学執行部としまして、規模を縮小してでもなんとか存続させていきたい思いを強く持っております。

新学園長御就任の積徹宗先生並びに新学長御就任の前田昌宏先生、心よりお祝いを申し上げます。お二方には、相愛大学人間発達学部同窓会の名譽顧問ご就任も、快諾いただきありがとうございます。相愛大学に新たな活気をもたらすべく、ベーションを起されることを存じます。そして、更なる活躍とご発展を心より御祈念申し上げます。生活習慣病にも今後とも卒卒、ご指導



同窓会 会長
細井 敦子
(1981年卒・旧姓 宮木)

鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

本年度も総会および懇親会を開催いたしました。華やかに進行する中、令和5年度卒業生の新学年幹事子ども発達学科4名、発達栄養学科4名が決まりました。今後は、諸先輩に見習い能力を発揮されることを存じます。

と口腔内細菌の関係や食品の選び方、献立の立て方をはじめさまざまなテーマと内容は、現代社会を生き抜くための健全な心身をつくり上げていきます。豊富な知識を身につけることが可能であり、身近な生活の中で実践することが容易なのは、とても魅力的です。

子ども教育学科では、「よつばのクローバー」を開催しております。地域連携事業の一環で、授業内で子育て家庭と学生の交流活動を通して、人と人をつなぐファシリテーター的な実践力の育成を行っています。また、ITC活用教育プログラムでは、小学校の授業で学習課題への興味関心を高めたり、学習内容をわかりやすく説明したりするための指導方法を実践的に身につけることが出来ます。情報化社会において、必要不可欠な分野であると考えております。ITCの技術は私たちの生活の中で使われており、スマートフォン、タブレット端末の機器類、ICカード等々数多くあります。IT社会やグローバル化社会で活躍できる人材教育に繋がることでしょう。

日本では少子高齢化社会でございますが、ひとりでも多くの方に大学の素晴らしき教育方針をご理解いただきたいと願っております。末筆ではございますが、今後共に皆様方ますますのご活躍とご多幸をご祈念申し上げます。

鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

と口腔内細菌の関係や食品の選び方、献立の立て方をはじめさまざまなテーマと内容は、現代社会を生き抜くための健全な心身をつくり上げていきます。豊富な知識を身につけることが可能であり、身近な生活の中で実践することが容易なのは、とても魅力的です。

日本では少子高齢化社会でございますが、ひとりでも多くの方に大学の素晴らしき教育方針をご理解いただきたいと願っております。末筆ではございますが、今後共に皆様方ますますのご活躍とご多幸をご祈念申し上げます。